

学校読書活動の取組【八幡市立八幡小学校】

1 実践テーマ

『ことばの力』をはぐくむために～『やわたっ子読書活動一覧表』を活用した読書活動の推進

2 学校の概況

八幡市は、京都府の南西部、木津川・宇治川・桂川の三川が合流して淀川となる地点に位置し、大阪府境に接しています。本校の創立は明治6年、八幡市の北部に位置し、校区には、国宝である石清水八幡宮や飛行神社などがあります。

令和元年度の在籍児童数は、435名、特別支援学級4学級を含む20学級の学校です。

教育目標は、「あたたかい人間関係をはぐくみ、学び合い、高め合う児童の育成」です。平成30・31（令和元）年度には、京都府教育委員会より「学力向上システム開発校」の指定を受けました。研究テーマを「主体的・対話的な学びを深め、『ことばの力』をはぐくむために」～読むことの授業改善を通して～として、研究を推進しています。読書活動は、豊かな心をはぐくみ、「ことばの力」の土台となると考えて重視しています。

3 実践内容

(1)方針・計画

国語科における授業改善、ことばに親しむ取組、ことばの基礎的な力を育む取組とともに、ことばの力の土台となる読書活動を重視しています。そのため、教育課程全体に位置付けた「やわたっ子読書活動一覧表」を作成して、教職員が取組内容を共有し、計画的に読書活動を推進できるようにしています。

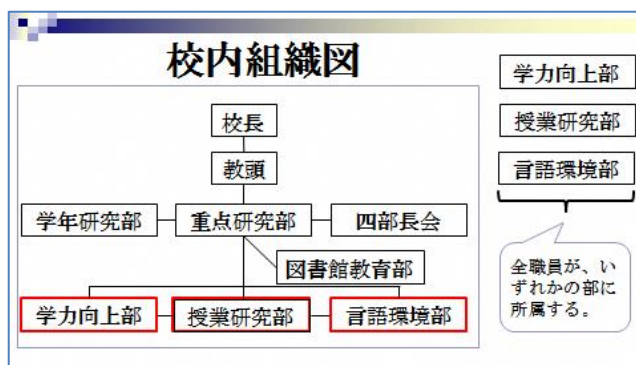


(2)活動体制

重点研究部と図書館教育部が連動して活動ができるように校務分掌を改善しました。市費嘱託職員である学校図書館司書も図書館教育部に所属し、研究主任や司書教諭と連携して多様な読書活動を計画立案し、学校図書館の運営、活動を行うことができますようにしています。学校長は、学校図書館長として、目指したい読書活動のビジョンを示し、重点研究部長、図書館教育部長、学校図書館司書がそれに基づいて具現化を図っています。

(3)取組内容

ア 外部人材を活用した読み聞かせの会（毎週水曜日）やお話の会（20年前から継続）、百人一首



の会(H27より継続)等をしています。

イ 主体的な読書活動を推進するための「ブックウォーク」(主体的に自分のために自分で目標を設定し、途中見直しも行いながら年間を通して取り組む読書)を全校で実施しています。目標達成者には、年度末に校長室で学校長から表彰状を手渡しし、図書館教育部手作りのしおりのプレゼントを渡しています。



図書委員による幼稚園での読み聞かせ

ウ 各教科等における調べ学習や、国語科の授業における並行読書や発展読書を計画的に行っています。

エ 図書館教育部と児童の図書委員会が協力して行うイベントを定期的に行っています。図書委員は、八幡幼稚園への読み聞かせにも行きます。

オ 学校図書館司書による図書だよりの発行を季節ごとに行っています。教職員と連携して授業で活用する図書資料の計画的準備も行います。隣接する公立図書館との連携も行います。

カ 児童、教職員、読書ボランティア、PTA、学校図書館司書が連携して毎年6月に選書会を行います。



全教職員のおすすめ本を紹介する展示

キ 調べ学習やビブリオバトル等の教職員研修を毎年学校図書館で行っています。研修会の最後には、学校図書館にある図書資料の中から、全教職員が各自おすすめ本を選び、本を持って写真撮影を行います。その後本の紹介文を各自書き、10月の展示会では、写真付きの紹介文と本を学校図書館前の廊下に展示しています。

ク ことばに親しむ全校取組である「俳句・川柳をつくろう」と関連した本の紹介と展示をして、児童の意欲喚起につながるようになっています。

ケ 各学年が作成した本の紹介文は、学校図書館前廊下に掲示しています。

(4) 学校図書館環境

ア 学校図書館司書による季節の掲示や展示を行っています。学校行事や取組と関連させた図書紹介も多く行い、児童の興味関心を喚起する工夫をしています。新刊本のお披露目会もその都度行います。

イ 図書委員会によるおすすめ本の紹介文を掲示し、中間休みや昼休みには、図書委員が考えた各種イベントを行っています。



6年生による宮澤賢治の本の紹介

ウ 学校図書館司書による学校図書館の使い方等オリエンテーションは、全学級4月当初に行います。

エ 担任と学校図書館司書が連携したブックウォークの取り組み方の説明と昨年度の個々の読書実績を元にした目標の設定会は、全学級4月当初に行います。

オ 担任と学校図書館司書が連携したブックウォークの目標の見直し会は、年度途中に、各学級ごとに学校図書館で行います。

カ 長期休業中には、学校図書館司書による読書感想文の書き方講座を行います。本の帯やしおりのコンテストに出す作品を作るコーナーも開設します。

キ 毎月個別の貸出冊数を学校図書館司書が担任に伝え、個に応じて図書利用を勧めています。

(5) 実践開始時期

ア 20年前から外部人材を活用した「お話の会」を開始しました。和室を利用して、全学年で各学級ごとにストーリーテリングや読み聞かせ、本の紹介等を毎年継続して行っています。

イ 20年前から保護者や地域の方による「読み聞かせ」を開始しました。各学級にて毎週水曜日の朝学習にて実施しています。PTA主催の「子ども祭り」においても読み聞かせコーナーを開設してきました。

ウ 選書会、学校図書館司書による掲示や展示、図書紹介は7年前から、ブックウォークは10数年前から実施しています。

エ H29年度より、学校長が学校図書館長としてこれまでの実践を年間計画表にまとめることを提案しました。それを機に学校図書館司書と図書館教育部を中心に多様な読書活動を整理し直し、ブックウォークの方法等も手直しを行いました。年間計画表は確定ではなく、

